

整理番号	2019M-	099	補助事業者名	地方独立行政法人山口県 産業技術センター	事業項目名	薄膜用摩擦摩耗試験機
------	--------	-----	--------	-------------------------	-------	------------

別紙 JKA補助事業 2019年度 事前計画／自己評価書(4/5)

5. 補助事業の自己評価

作成日	2020	年	3	月	11	日	作成者	稲田和典
-----	------	---	---	---	----	---	-----	------

(a) 個別項目評価

●個別の評価項目について、事前計画／自己評価書(3/5①②) 4. 事前計画 に対する達成状況等を把握し、分析・評価してください。					
(1) 受益者 (ニーズ)	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
(2) 事業内容	機器の審査会や制限付き一般競争入札等を行い、予定どおり令和2年1月に薄膜用摩擦摩耗試験機を導入することができた。導入後は、関係職員向けのトレーニングを行い、当センターの開放機器利用システムに登録を行い、技術相談、開放機器、試験研究等の支援サービスを開始した。ホームページへの掲載やリーフレット作成配布等で機器紹介を行い広報に努めた。利用者に対してはアンケート調査を行い、満足度や要望等の把握を行っている。				
事業の新規性または継続の必要性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
事業の発展性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
実施計画・体制	入札、契約等を行い、予定どおり令和2年1月に導入することができた。計画どおり、開放機器等の支援サービスが開始できており、実施計画・体制は妥当であった。			採点 4	
(3) 達成目標	事業の実施結果	[達成値] 令和2年1月	[達成状況] 100%	[具体的内容] 予定どおり令和2年1月に導入(納入・検収)できた。	採点 4
	事業の成果・波及	[達成値] 1: 20.9時間/月 2: 100%[満足及びほぼ満足が3社(調査数3社)]	[達成状況] 1: 123% 2: 143%	[具体的内容] 1: 利用時間は目標を超えることができた。 2: 利用者の満足度は目標値を超えており、地域企業に対する波及効果は十分あったと考える。	採点 5
(4) 情報発信	事業の実施結果	[達成値] 1: 265部 2: 1回 3: 3回	[達成状況] 1: 265% 2: 100% 3: 100%	[具体的内容] 1: 機器紹介のリーフレットを265部配布した。セミナー、研究会等で配布し、受益者である地域の企業等へ周知ができた。 2: 導入時に、当センター職員に対し電子メールによる機器案内及び機器説明会を実施した。 3: JKA補助対象機器専用ページの作成、HPの新着情報への掲載、HPの開放機器ページへの掲載。	採点 5
	競輪・オートレース補助金による事業であること	[達成値] 1: 265部 2: 5箇所 3: 3回	[達成状況] 1: 265% 2: 167% 3: 100%	[具体的内容] 1: 当センターで刊行しているリーフレットにJKAのマークとオートレースの補助事業を受けて導入したものである旨を記載し、265部配布した。 2: JKAのポスターを補助対象機器を設置している3部屋入口、玄関ロビー1箇所、技術相談室受付付近1箇所の計5箇所へ掲示した。 3: JKA補助対象機器専用ページの作成、HPの新着情報への掲載、HPの開放機器ページへの掲載。	採点 5
(5) 自己評価の体制	令和2年3月11日に評価委員会(理事長ほか8名で構成。委員長は理事長)を開催し、成果の目標、達成状況等について評価を行った。(評価過程の記録として議事録を添付する。)評価結果は当センターHPに掲載予定である。			採点 4	

(b) 総合評価

総合 評価点	5
-----------	---

●(a) 個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。	
(1) 事前計画(2/5)記載の「補助事業の直接的な目的」を踏まえた、事業全体についての意見・所感	導入前においても、早期導入への期待や機能向上について企業からの問い合わせがあるなど、地域企業のニーズに合った機器を導入できたと考えている。想定を上回る利用状況であり、地域の機械振興に資する効果が高いと考えている。
(2) 優れている点・課題、改善すべき点	【優れている点】要望申請に先立ってアンケート調査、企業ヒアリング等を行い、県内企業のニーズを把握した上で必要性の高い機器を導入している。導入後は情報発信を積極的に行うなど、機器利用に努め、県内企業における地域イノベーション及びものづくり技術の高度化・ブランド化、技術課題解決の達成に寄与している。 【課題・改善すべき点】導入も順調に進み、導入後も、想定を上回る利用状況であり、特に課題や改善すべき点は見当たらないが、引き続き、利用の増加や運用の改善に努める。
(3) その他、アピールしたい点、是非知ってもらいたい点	導入した機器は、薄膜等の摩擦摩耗特性評価において、これまでの現有機器と比較して、軸ブレのない高精度な評価が可能となった。加えて、制御系も一新され、より使い易く、多様なデータ処理も可能となる等、より効率的な試験評価環境が提供でき、県内企業のイノベーションの創出やものづくり技術の高度化等に大きく寄与できる。

【公設[機械設備]】

整理番号	2019M-	099	補助事業者名	地方独立行政法人山口県 産業技術センター	事業項目名	射出成形機
------	--------	-----	--------	-------------------------	-------	-------

別紙 JKA補助事業 2019年度 事前計画／自己評価書(4/5)

5. 補助事業の自己評価

作成日	2020	年	3	月	11	日	作成者	稲田和典
-----	------	---	---	---	----	---	-----	------

(a) 個別項目評価

●個別の評価項目について、事前計画／自己評価書(3/5①②) 4. 事前計画 に対する達成状況等を把握し、分析・評価してください。					
(1) 受益者 (ニーズ)	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
(2) 事業内容	機器の審査会や制限付き一般競争入札等を行い、予定どおり令和2年1月に射出成形機を導入することができた。導入後は、関係職員向けのトレーニングを行い、当センターの開放機器利用システムに登録を行い、技術相談、開放機器、試験研究等の支援サービスを開始した。ホームページへの掲載やリーフレット作成配布等で機器紹介を行い広報に努めた。利用者に対してはアンケート調査を行い、満足度や要望等の把握を行っている。				
事業の新規性または継続の必要性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
事業の発展性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
実施計画・体制	入札、契約等を行い、予定どおり令和2年1月に導入することができた。計画どおり、開放機器等の支援サービスが開始できており、実施計画・体制は妥当であった。			4	
(3) 達成目標	事業の実施結果	[達成値] 令和2年1月	[達成状況] 100%	[具体的内容] 予定どおり令和2年1月に導入(納入・検収)できた。	4
	事業の成果・波及	[達成値] 1:35.9時間/月 2:100%[満足及びほぼ満足が5社(調査数5社)]	[達成状況] 1: 211% 2: 143%	[具体的内容] 1: 利用時間は目標を超えることができた。 2: 利用者の満足度は目標値を超えており、地域企業に対する波及効果は十分あったと考える。	5
(4) 情報発信	事業の実施結果	[達成値] 1: 265部 2: 1回 3: 3回	[達成状況] 1: 265% 2: 100% 3: 100%	[具体的内容] 1: 機器紹介のリーフレットを265部配布した。セミナー、研究会等で配布し、受益者である地域の企業等へ周知ができた。 2: 導入時に、当センター職員に対し電子メールによる機器案内及び機器説明会を実施した。 3: JKA補助対象機器専用ページの作成、HPの新着情報への掲載、HPの開放機器ページへの掲載。	5
	競輪・オートレース補助金による事業であること	[達成値] 1: 265部 2: 5箇所 3: 3回	[達成状況] 1: 265% 2: 167% 3: 100%	[具体的内容] 1: 当センターで刊行しているリーフレットにJKAのマークとオートレースの補助事業を受けて導入したものである旨を記載し、265部配布した。 2: JKAのポスターを補助対象機器を設置している3部屋入口、玄関ロビー1箇所、技術相談室受付付近1箇所の計5箇所へ掲示した。 3: JKA補助対象機器専用ページの作成、HPの新着情報への掲載、HPの開放機器ページへの掲載。	5
(5) 自己評価の体制	令和2年3月11日に評価委員会(理事長ほか8名で構成。委員長は理事長)を開催し、成果の目標、達成状況等について評価を行った。(評価過程の記録として議事録を添付する。)評価結果は当センターHPに掲載予定である。			4	

(b) 総合評価

総合 評価点	5
-----------	---

●(a) 個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。	
(1) 事前計画(2/5)記載の「補助事業の直接的な目的」を踏まえた、事業全体についての意見・所感	導入前においても、早期導入への期待や機能向上について企業からの問い合わせがあるなど、地域企業のニーズに合った機器を導入できたと考えている。想定を上回る利用状況であり、地域の機械振興に資する効果が高いと考えている。
(2) 優れている点・課題、改善すべき点	【優れている点】要望申請に先立ってアンケート調査、企業ヒアリング等を行い、県内企業のニーズを把握した上で必要性の高い機器を導入している。導入後は情報発信を積極的に行うなど、機器利用に努め、県内企業における地域イノベーション及びものづくり技術の高度化・ブランド化、技術課題解決の達成に寄与している。 【課題・改善すべき点】導入も順調に進み、導入後も、想定を上回る利用状況であり、特に課題や改善すべき点は見当たらないが、引き続き、利用の増加や運用の改善に努める。
(3) その他、アピールしたい点、是非知ってもらいたい点	導入した機器により、樹脂成形品の試作が可能となり、プラスチック製品等の開発企業や3Dものづくり企業等のニーズにも合わせた幅広い用途に利用できるようになり、県内企業のイノベーションの創出やものづくり技術の高度化等に大きく寄与できる。

【公設[機械設備]】

整理番号	2019M-	099	補助事業者名	地方独立行政法人山口県産業技術センター	事業項目名	光散乱特性評価装置
------	--------	-----	--------	---------------------	-------	-----------

別紙 JKA補助事業 2019年度 事前計画／自己評価書(4/5)

5. 補助事業の自己評価

作成日	2020	年	3	月	11	日	作成者	稲田和典
-----	------	---	---	---	----	---	-----	------

(a) 個別項目評価

●個別の評価項目について、事前計画／自己評価書(3/5①②) 4. 事前計画 に対する達成状況等を把握し、分析・評価してください。					
(1) 受益者(ニーズ)	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
(2) 事業内容	機器の審査会や制限付き一般競争入札等を行い、予定どおり令和2年1月に光散乱特性評価装置を導入することができた。導入後は、関係職員向けのトレーニングを行い、当センターの開放機器利用システムに登録を行い、技術相談、開放機器、試験研究等の支援サービスを開始した。ホームページへの掲載やリーフレット作成配布等で機器紹介を行い広報に努めた。利用者に対してはアンケート調査を行い、満足度や要望等の把握を行っている。				
事業の新規性または継続の必要性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
事業の発展性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
実施計画・体制	入札、契約等を行い、予定どおり令和2年1月に導入することができた。計画どおり、開放機器等の支援サービスが開始できており、実施計画・体制は妥当であった。			採点 4	
(3) 達成目標	事業の実施結果	[達成値] 令和2年1月	[達成状況] 100%	[具体的内容] 予定どおり令和2年1月に導入(納入・検収)できた。	採点 4
	事業の成果・波及	[達成値] 1:30.5時間/月 2:100%[満足及びほぼ満足が5社(調査数5社)]	[達成状況] 1:305% 2:143%	[具体的内容] 1:利用時間は目標を超えることができた。 2:利用者の満足度は目標値を超えており、地域企業に対する波及効果は十分あったと考える。	採点 5
(4) 情報発信	事業の実施結果	[達成値] 1:265部 2:1回 3:3回	[達成状況] 1:265% 2:100% 3:100%	[具体的内容] 1:機器紹介のリーフレットを265部配布した。セミナー、研究会等で配布し、受益者である地域の企業等へ周知ができた。 2:導入時に、当センター職員に対し電子メールによる機器案内及び機器説明会を実施した。 3:JKA補助対象機器専用ページの作成、HPの新着情報への掲載、HPの開放機器ページへの掲載。	採点 5
	競輪・オートレース補助金による事業であること	[達成値] 1:265部 2:5箇所 3:3回	[達成状況] 1:265% 2:167% 3:100%	[具体的内容] 1:当センターで刊行しているリーフレットにJKAのマークとオートレースの補助事業を受けて導入したものである旨を記載し、265部配布した。 2:JKAのポスターを補助対象機器を設置している3部屋入口、玄関ロビー1箇所、技術相談室受付付近1箇所の計5箇所へ掲示した。 3:JKA補助対象機器専用ページの作成、HPの新着情報への掲載、HPの開放機器ページへの掲載。	採点 5
(5) 自己評価の体制	令和2年3月11日に評価委員会(理事長ほか8名で構成。委員長は理事長)を開催し、成果の目標、達成状況等について評価を行った。(評価過程の記録として議事録を添付する。)評価結果は当センターHPに掲載予定である。			採点 4	

(b) 総合評価

総合評価点	5
-------	---

●(a) 個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。	
(1) 事前計画(2/5)記載の「補助事業の直接的な目的」を踏まえた、事業全体についての意見・所感	導入前においても、早期導入への期待や機能向上について企業からの問い合わせがあるなど、地域企業のニーズに合った機器を導入できたと考えている。想定を上回る利用状況であり、地域の機械振興に資する効果が高いと考えている。
(2) 優れている点・課題、改善すべき点	【優れている点】要望申請に先立ってアンケート調査、企業ヒアリング等を行い、県内企業のニーズを把握した上で必要性の高い機器を導入している。導入後は情報発信を積極的に行うなど、機器利用に努め、県内企業における地域イノベーション及びものづくり技術の高度化・ブランド化、技術課題解決の達成に寄与している。 【課題・改善すべき点】導入も順調に進み、導入後も、想定を上回る利用状況であり、特に課題や改善すべき点は見当たらないが、引き続き、利用の増加や運用の改善に努める。
(3) その他、アピールしたい点、是非知ってもらいたい点	導入した機器により、製品や光学部材の透過光や反射光等の光学特性の評価が可能となり、照明装置製造や光学材料製造等の開発や品質管理、不具合問題等への対応等幅広い用途に利用できるようになり、県内企業のイノベーションの創出やものづくり技術の高度化等に大きく寄与できる。

【公設[機械設備]】